

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床検査学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員		矢野 彰三 他	実務経験と その関連資格	矢野:島根大学医学部附属病院検査部部长			
《授業科目における学習内容》							
病気や心身の障害などを伴って病院を訪れ、また闘病の経過で異なる状態を示す患者に対して、医療者側として、患者のその時々 の状態を正しく把握することがまず前提となる。正しく把握する医療的な手段として、臨床検査は不可欠であり、医療 職者として臨床検査の基本的な知識を習得する事は重要である。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
臨床工学講座 生体計測装置学							
《授業外における学習方法》							
講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題							
《履修に当たっての留意点》							
講義にあたり予習と復習を行い講義内容を理解しておくこと							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	臨床検査総論導入について理解でき、説明できる。		臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマに おける 授業予定	臨床検査総論導入				
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	臨床検査の流れについて理解でき、説明できる。		臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマに おける 授業予定	臨床検査の流れ				
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	血液学的検査について理解でき、説明できる。		臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマに おける 授業予定	血液学的検査				
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	内分泌学的検査について理解でき、説明できる。		臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマに おける 授業予定	内分泌学的検査				
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	一般検査について理解でき、説明できる。		臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
		各コマに おける 授業予定	一般検査				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病理検査について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	病理検査		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床微生物検査について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	臨床微生物検査		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床化学について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	臨床化学		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生体検査Ⅱ①について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	生体検査Ⅱ①		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経生理、頭部MRIについて理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	神経生理、頭部MRI		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生体検査Ⅱ②について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	生体検査Ⅱ②		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血液凝固検査について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	血液凝固検査		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫血清検査について理解でき、説明できる。	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	免疫血清検査		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめにより自分の弱点を見つけれる	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめにより自分の弱点を見つけれる	臨床工学講座 生体計測装置学	・講義のノートまとめ （図も記載すること） ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	まとめ		